

平成30年度公共事業事後評価(農業農村整備事業)

中山間地域総合整備事業
中伊豆やすらぎ地区

経済産業部 農地局 農地保全課

位置図／事業概要／事業の目的・必要性



伊豆市(旧中伊豆町)の概要

- 人口:7,161人
- 主産業:農林業
- 農家数:615戸
- 主要作物:米、わさび、しいたけ

現状

- 農地が小区画で、農道が未整備
- 用水施設の老朽化により管理に支障
- 農業と観光との連携が不十分



特別栽培米 伊豆の恵



世界農業遺産 わさび

事業概要／事業の目的・必要性

中伊豆町まちづくり懇談会

中伊豆町グリーンツーリズム推進協議会、農協、観光協会、商工会、山葵組合、行政等

活性化構想

恵み豊かな水とやすらぎの郷づくり
(自然・農業・観光の連携による地域活性化)

「農業と生活の恵みの郷づくり」
地域に密着した清流と伝統的な農村風景の保全

「交流拠点づくり」
地域住民・都市住民との活動・交流拠点づくり

「川と清流の恵みの郷づくり」
自然の恵みに触れ楽しめる場づくり

「森と緑の恵みの郷づくり」
わさび田等での自然・農業体験活動の推進

実施計画

中山間地域総合整備事業
「中伊豆やすらぎ地区」

「既存資源」

「農業生産基盤」
・ほ場整備農地

「農村生活環境」
・中伊豆ワイナリー
・下白岩ジオサイト
・萬城の滝

...など

「農業生産基盤整備」

農業生産力強化と
農村景観の保全

「農村生活環境整備」

地域住民の活動拠点、
都市農村交流の情報発信、
農業体験等、活動拠点づくり

「関連他事業」

自然農業体験活動拠点づくり

事業概要／事業の目的・必要性



【生活基盤】
活動・交流
拠点
「季多楽」

【生産基盤】
農道整備
ほ場整備
用水路整備

【生活基盤】
交流拠点
農村公園

既存施設

本事業

関連事業

事業概要／事業の目的・必要性

＜事業概要＞

施工箇所: 伊豆市

受益面積: 76.2ha

工期: 平成12年度～平成24年度

事業費: 1,368百万円

事業内容: 農業用水路 L=1,123m(8路線)

農道 L=2,630m(8路線)

ほ場整備 A=1.6ha(1箇所)

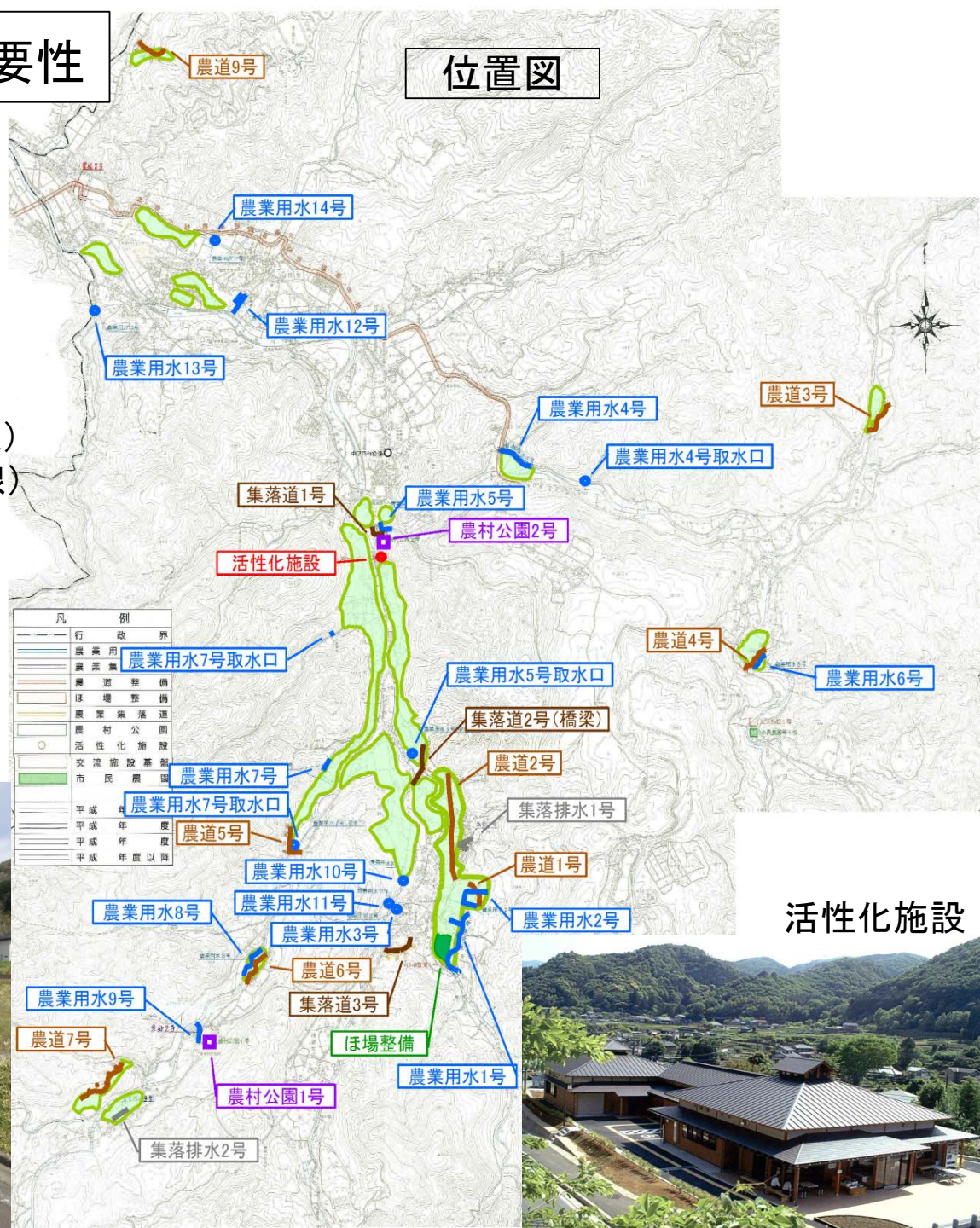
集落道 L=570m(3路線)

集落排水 L=248m(2路線)

農村公園 N=2箇所

活性化施設 N=1箇所

農道



事業の効果等

食料安定供給確保効果

(作物生産・国産農産物安定供給・品質向上・
営農経費節減・維持管理費節減・走行経費節減)



総便益: 33.87億円

農村振興効果

(生活環境改善・災害時の避難地確保)



総便益: 11.44億円

多面的機能発揮効果

(都市・農村交流促進)



総便益: 7.42億円

総費用総便益比

$B(\text{総便益: 52.73億円}) / C(\text{総費用: 31.72億円}) = 1.66$

事業の効果等【食料安定供給確保効果】

農道(整備前)



未舗装・狭小で農産物等の搬入・搬出に
多大な労力が必要

農道(整備後)



拡幅改良により機械搬入が可能となり
省力化された



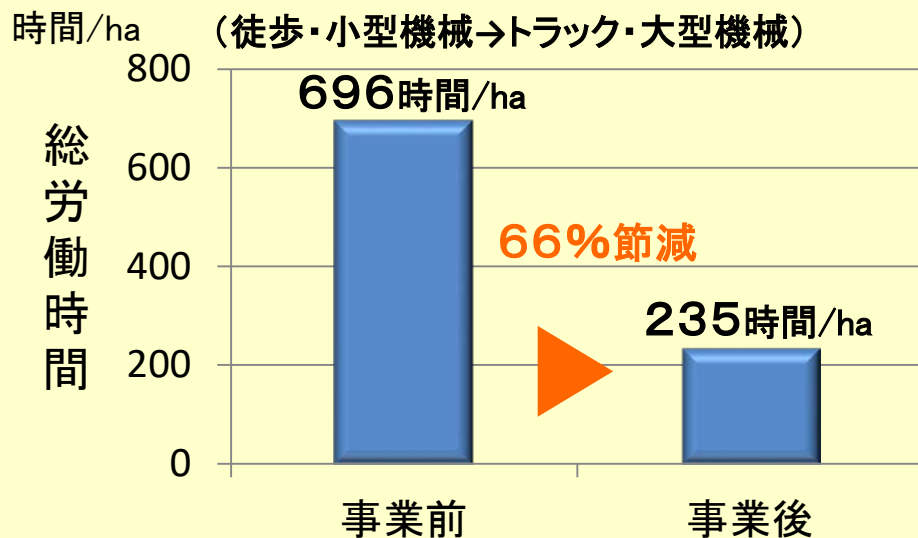
H28 認定

特別栽培米
伊豆の恵



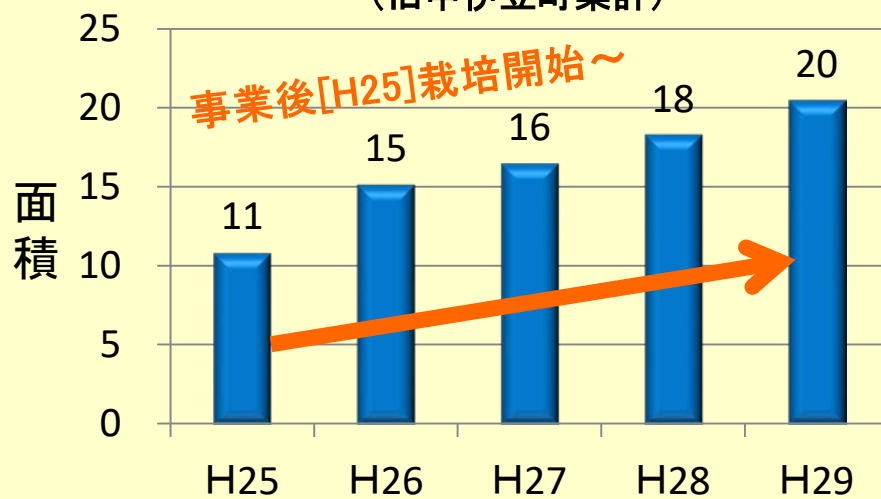
事業実施による水田労働時間(年)

(徒歩・小型機械→トラック・大型機械)



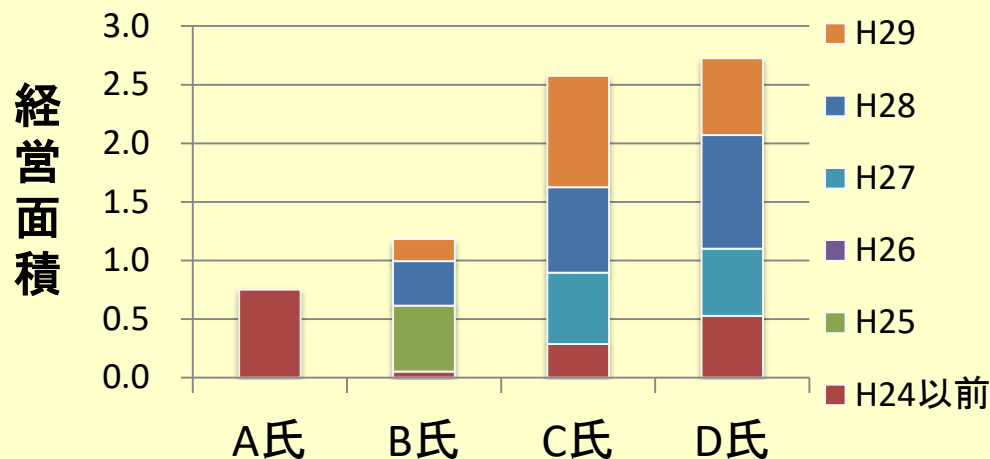
「伊豆の恵」栽培実績(ha)

(旧中伊豆町集計)



事業実施による環境の変化【農業生産力の強化】

認定農業者集積状況(ha)



■ 水稻専作

受益地内には4名の認定農業者
(平均経営面積1.8ha)

事業完了後(H25～)着実に集積が促進

■ わさび+水稻複合経営

受益地内には5名の認定農業者
(平均経営面積0.5ha)

事業により水稻作業省力化され、
主体のわさび栽培へ労力移管

ほ場整備区域内では機械化が可能に

受益地内の不作付け農地は、
わずか1.3%！



事業の効果等【多面的機能発揮効果(都市・農村交流促進)】

活性化施設 「季多楽(きたら)」

農業

農地、地場産品、農村景観
などの地域資源

生産基盤整備された
農地を活用

農産物

農産物
直売・加工

販売情報



- ・農業者
- ・農業団体
- ・地域住民

観光

中伊豆農山漁村振興推進協議会

観光企画

地域情報



観光拠点施設
(ワイナリー等)と連携

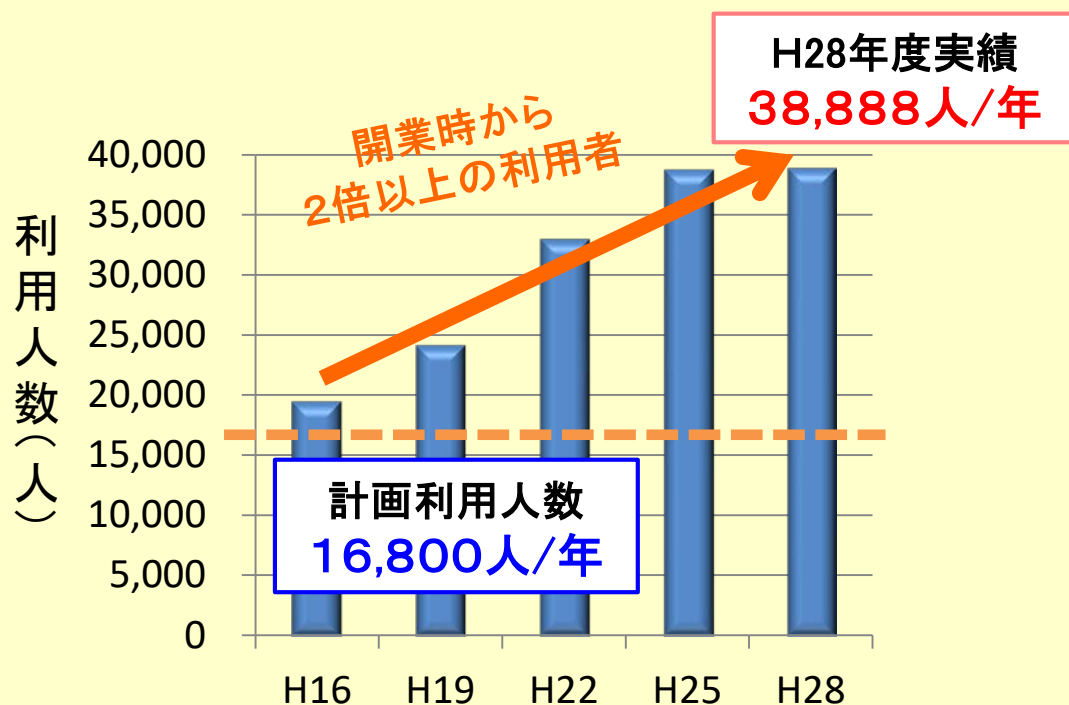
- ・中伊豆ワイナリー
- ・JA伊豆の国
- ・中伊豆山葵組合
- ・伊豆市観光協会中伊豆支部
- ・伊豆市

情報発信
企画・調整

農業と観光との連携

事業の効果等【多面的機能発揮効果(都市・農村交流促進)】

活性化施設「季多楽」利用者数推移



年間3万8千人超の利用者があり増加傾向！
(当初計画[1万6千人]の約2倍の実績)

- ・地域住民、都市住民の交流拠点
 - ・グリーンツーリズムの情報発信・活動拠点
 - ・地場産品供給(販売)拠点
- として定着



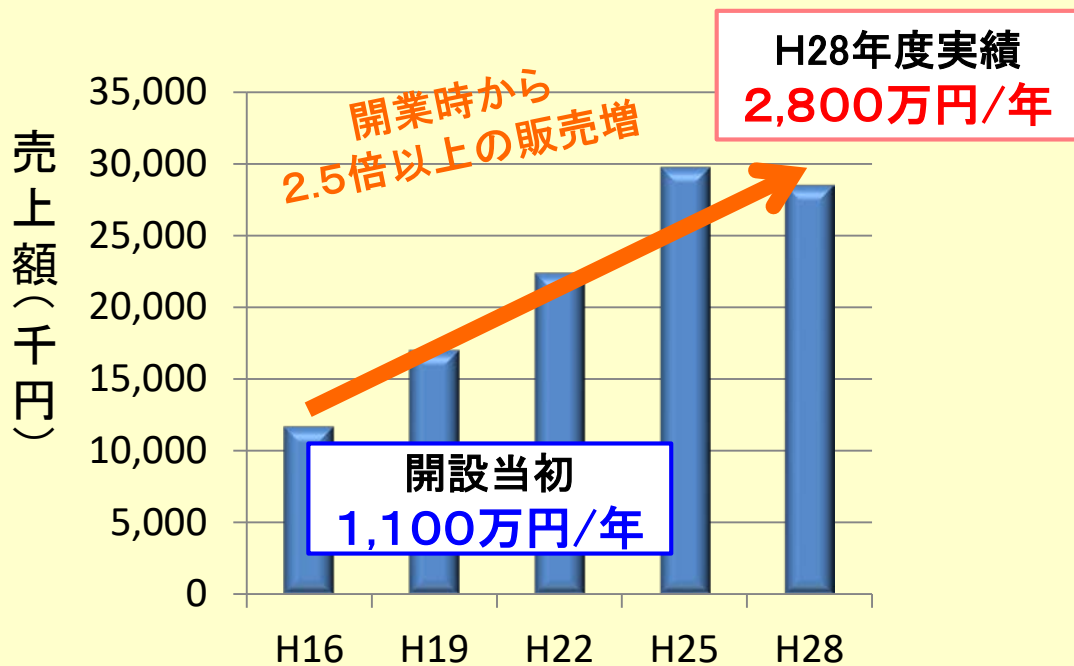
地場産品販売の盛況ぶりを伝える地元紙



季多楽」イベント「地産地消フェア」

事業実施による環境の変化【農村生活環境の変化】

活性化施設「季多楽」販売額推移



- ・年間2千8百万円の販売額
（開設時の2.5倍に拡大）
→農業者の所得向上に貢献
- ・地元特産物の販売・加工が可能となり、
地産地消・6次産業化のシステムの構築
→安定経営により地元雇用に貢献



朝採り野菜の直販



地元素材を使用した加工品の販売

伊豆半島 世界ジオパーク



第2

平成30年(2018年)3月10日(土曜日)

第1

第2

第3

第4

第5

第6

第7

第8

第9

第10

第11

第12

第13

第14

第15

第16

第17

第18

第19

第20

第21

第22

第23

第24

第25

第26

第27

第28

第29

第30

第31

第32

第33

第34

第35

第36

第37

第38

第39

第40

第41

第42

第43

第44

第45

第46

第47

第48

第49

第50

第51

第52

第53

第54

第55

第56

第57

第58

第59

第60

第61

第62

第63

第64

第65

第66

第67

第68

第69

第70

第71

第72

第73

第74

第75

第76

第77

第78

第79

第80

第81

第82

第83

第84

第85

第86

第87

第88

第89

第90

第91

第92

第93

第94

第95

第96

第97

第98

第99

「日本一の水わさびの邑」





「中伊豆ワイナリー」連携の農ツアー

**中伊豆
自然学びの里**

5月

中伊豆郷土料理も堪能できる！
親子で「新茶摘み」&「竹トンボ作り」
体験教室

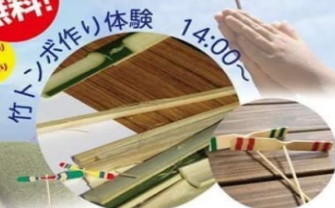
5月12日(土)
10:00～16:00(予定)
定員：先着 28名

第1段を
記念して参加費
無料!

新茶摘み体験 10:50～



竹トンボ作り体験 14:00～



～1日の流れ～

10:00～	中伊豆ワイナリー シャトー・T.S 総合案内所 集合
10:50～	新茶摘み体験@郷之湯製茶
13:00～	昼食 [中伊豆郷土料理] @八仙の里
14:00～	竹トンボ作り体験 ネイチャーゲーム
16:00頃	中伊豆ワイナリー シャトー・T.S 到着 解散

※雨天決行 雨天はレインコート・スニーカー・帽子・虫除け剤を持参してください。

<ご予約・問い合わせ先>
中伊豆農山漁村振興推進協議会 事務局
TEL:0558-99-9120
mail: nakaizu.manabino.sato@gmail.com

お申し込みはこちら
<http://www.enjoynakaizu.jp>



中伊豆農山漁村振興推進協議会

中伊豆農山漁村振興推進協議会

対応方針(案)

評価結果

- 農道、ほ場整備など生産基盤整備により営農労力の軽減、品質の向上が図られ、大豆や地域ブランド米「伊豆の恵」の栽培が広がる等、特色ある農業が継続的に行われている。
- 活性化施設を活用した加工・販売や6次産業化への取組などにより、売上増、所得向上が図られ、地域経済の活性化に貢献している。



事業効果は発現しており改善措置の必要はない

今後の課題等

- 地域の特産であるわさびの生産力強化に向け、営農の省力化に寄与するほ場内作業道（モノレール）の整備など地域特性を踏まえた基盤整備が必要

同種事業への反映等

- 継続的に「中山間地域総合整備事業みらい伊豆地区」でわさび田の生産基盤整備を実施中
世界ブランドとなった「わさび」を活かし観光との更なる連携強化を図る。
→体験や見学など生産者と観光客をつなぐ新たな仕組みづくり
- 県内の中山間地域においても、地元の意向を踏まえて、多様な地域資源を活用した農村振興、地域活性化に取り組んでいく。